

41 時計修理 Watch Repairing



腕時計の修理を通して持ち主の思いを大切に

どのような環境においても腕時計が正確に時を刻むためにメンテナンスを行うのが時計修理の仕事です。競技では、その修理に必要な技術や技能、センスが問われます。腕時計は正しい時刻を知ったり、時間を計ったりする役割に加えて、持つ人の個性を表現するアクセサリのような役割も持っています。そのため、単純に壊れた機能を元どおりに修復するだけでなく、持ち主の愛着や思い入れに応えるような、高い技術とセンスが必要とされています。



使い続けるために求められるのは 正確性と美しさ

1日目、2種類の腕時計を修理する課題では、不具合のあった箇所の修理状況や、時計としての完成度が求められます。2日目の部品製作課題では、工具を使った加工精度の正確性が評価のポイント。時計修理では既製の部品がない場合、時計技能士自身で部品を作ることもあります。エコロジーの観点から見ても、ものを修理して使うことはとても大切。これを支える時計技能士は、今後の循環型社会に不可欠な存在でもあります。



細部まで目を凝らし作業を行う！

競技について

競技時間 2日/8時間

課題は2日間かけて行われます。1日目の課題は、クォーツ式腕時計と機械式腕時計の不具合箇所を見つけ出して、課題に定められた正しい状態になるよう修理すること。修理と同時に、腕時計の分解・洗浄・注油・組立も行い、きれいに仕上げ提出します。2日目は、支給された材料を用いて、時計に使われている部品1種類をすべて手作業で製作します。



2019年大会
優秀作品

競技職種と生活との関わり

時計は正確に時を刻まなければならないと同時に、腕時計は身につける装飾品として美しくなければなりません。時計には様々な種類がありますが、ゼンマイの動力で歯車を回転させて動かす機械式時計と、電波時計を含む電池式のクォーツ時計の大きく二つに分かれます。時計それぞれのメカニズムを理解し、不具合のある状態の時計を元どおりに復元することができる時計修理職人。その手によって、愛着がある時計を長年にわたり、使い続けることができます。

2019年大会の成績

第57回技能五輪全国大会出場時点 / 2019年11月

金	シチズン時計マニファクチャリング(株) 妙高工場	水澤 操さん(新潟県)
銀	セイコーエプソン(株)	齊藤 美有さん(長野県)
	セイコーエプソン(株)	青柳 朋和さん(長野県)
銅	近江時計眼鏡宝飾専門学校	七里 敏司さん(滋賀県)
	盛岡セイコー工業(株)	小野 雄太さん(岩手県)
敢闘	(学)水野学園 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	福田 陽介さん(東京都)
	シチズン時計マニファクチャリング(株) 飯田殿工場	橋都 愛さん(長野県)

